様式第５号

実　務　に　関　す　る　証　明　書（その２）

現在の勤務先	（　　部）						
現在の職氏名	職　名		氏　名				
本校の在職期間	年　月　日から　年　月　日まで				計	年　月	
担　当　部	幼稚部　小学部　中学部　高等部（特別支援学校の場合，該当部を○で囲むこと）						
除算期間	産休・育休・療休及び休職等の有無（有・無）（いずれか一方を○で囲むこと）	事　由	期　間（有の場合）				
			年　月　日から　年　月　日まで　月				
			年　月　日から　年　月　日まで　月				
			年　月　日から　年　月　日まで　月				
			年　月　日から　年　月　日まで　月				
			年　月　日から　年　月　日まで　月				
	計		年　月				

担当教科（中学（部）校・高等（部）学校のみ記入）							
年度	職　名	担当教科名	週平均時間数	担当教科名	週平均時間数	担当教科名	週平均時間数

本校での勤務は，上記のとおりである。

年　　月　　日

所属長　　印

（注）勤務学校ごとに１枚ずつ作成すること。

申請日現在の勤務校を記入。
（実務経験の期間とは一致しない場合もあります）

作成上の注意

実　務　に　関　す　る　証　明　書（その２）

現在の勤務先	茨城県立△△特別支援学校　（　小　学　部　）			
現在の職氏名	職　名	教　諭	氏　名	免許　太郎
本校の在職期間	平成 26 年４月１日 から 平成 28 年３月 31 日 まで		計	２年　０月
担　当　部	幼稚部　小学部　(中学部)　高等部（特別支援学校の場合，該当部を○で囲むこと）			

除算期間	産休・育休・療休及び休職等の有無	事　由	期　間（有の場合）
	（有・(無)）（いずれか一方を○で囲むこと）		年　月　日から　年　月　日まで　月
			年　月　日から　年　月　日まで　月
			年　月　日から　年　月　日まで　月
			年　月　日から　年　月　日まで　月
			年　月　日から　年　月　日まで　月
			年　月

除算期間の有無について，必ず○をつけてください。

使用しようとする実務経験の期間について記入。

担当教科（中学（部）校・高等（部）学校のみ記入）

年度	職　名	担当教科名	週平均時間数	担当教科名	週平均時間数	担当教科名	週平均時間数
２６（中学部）	教　諭	保健体育	５	自立活動（保健体育の内容を含む）	４	総合的な学習の時間（保健体育の内容を含む）	１２
２７（中学部）	教　諭	保健体育	５	自立活動（保健体育の内容を含む）	４	総合的な学習の時間（保健体育の内容を含む）	１２

実務に関する証明書その１とその２は整合性がとれるよう作成してください。

※　証明者である当該学校での，証明書作成日までの在職期間について記載してください。（証明書作成日より後の日付の証明はできません。）
※　他校での実務期間は証明できません。
※　必要となる実務期間が複数校にまたがる場合は、それぞれの学校において作成してください。
※　義務教育学校，中等教育学校又は特別支援学校の場合，基礎となる免許状を使用していることが確認できるよう，年度欄に課程又は学部を併記してください。
※　担当教科欄には，基礎となる免許状を使用していることが確認できるよう記載してください。（例えば，基礎となる免許状が中学校教諭免許状（数学）で特別支援学校にて教授していた場合，「自立活動」の中に数学の内容を含む場合は，（数学の内容を含む）等と併記してください。）
※　取得しようとする免許状の取得根拠規定に定める最低在職年数を充足すれば，すべての在職年数について作成する必要はありません。

本校での勤務は，上記のとおりである。

令和　○　年　○　月　○　日

所属長　茨城県立□□特別支援学校長　茨城　次郎　職印

（注）勤務学校ごとに１枚ずつ作成すること。